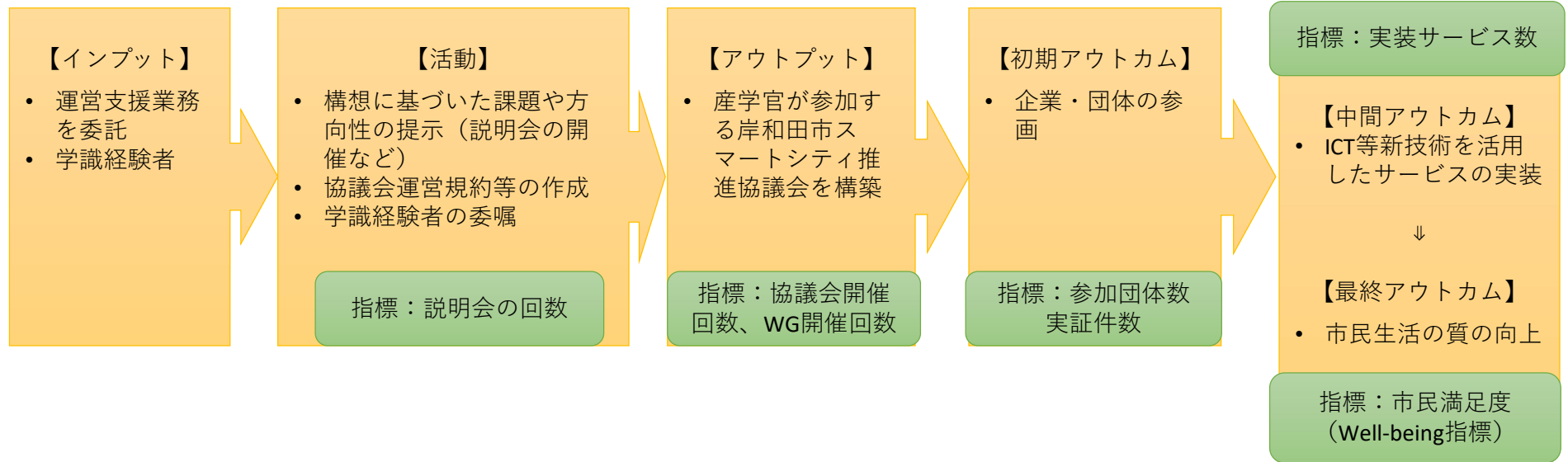


【R7年度】重点目標の取組・概要（岸和田市スマートシティ構想の推進[スマートシティ推進事業]）

担当課（内線）	企画課スマートシティ推進担当（内線2216）	重点目標の方向性	未来志向の都市経営												
重点目標	地域課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	広域的な視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する												
現状と課題		課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）													
<ul style="list-style-type: none"> 「将来ビジョン・岸和田」では、すべての分野や取組において共通して意識・活用すべき内容を定めた「岸和田を強くする“3つの視点”」を設定しており、その一つに「時代を先取り・リードする先端技術の活用」を掲げている。令和5年度に岸和田市スマートシティ構想に基づき、産学官が協力して民間企業の事業・サービスを活用したスマートシティの取組を進め、市民生活の質の向上につなげていくことが求められている。 		<p>【中期的(4～5年後)にめざす成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産学官が協力して、スマートシティの取組を実装し、市民生活の質の向上につなげる。 <p>【成果に向けての各年度の進め方】</p> <p>(R7)</p> <ul style="list-style-type: none"> 岸和田市スマートシティ推進協議会の活性化と実証や実装を推進する。 大阪広域連携基盤へ参画し、サービス展開を図る。 デジタルデバイド対策として、地域のつながりを生むスマートフォン教室の開催に向けての検討を進める。 <p>(R8以降)</p> <p>岸和田市スマートシティ推進協議会の活性化と実証や実装を推進する。また、大阪広域データ連携基盤を活用したサービス展開を図る。併せて、デジタルデバイド対策として、地域のつながりを生むスマートフォン教室の開催に向けての検討を進める。</p> <p>【R7年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 岸和田市スマートシティ推進協議会の運営 <ul style="list-style-type: none"> スマートシティ推進の取組検討と実証 大阪広域データ連携基盤への参画調整 <ul style="list-style-type: none"> 連携サービスの導入調整 デジタルデバイド対策 <ul style="list-style-type: none"> スマートフォン教室の開催検討 													
R7年度の事業費（内訳）															
<table> <tr> <td>学識等アドバイザー報償費</td> <td>285,000円</td> </tr> <tr> <td>大阪広域データ連携基盤（ORDEN）負担金</td> <td>3,148,000円</td> </tr> <tr> <td>岸和田市スマートシティ推進協議会運営支援委託</td> <td>4,510,000円</td> </tr> <tr> <td>実証実験委託料</td> <td>2,500,000円</td> </tr> <tr> <td>地域に根付いたスマホ教室</td> <td>4,000,000円</td> </tr> <tr> <td>スマートフォン教室広報チラシ印刷費</td> <td>55,000円</td> </tr> </table>		学識等アドバイザー報償費	285,000円	大阪広域データ連携基盤（ORDEN）負担金	3,148,000円	岸和田市スマートシティ推進協議会運営支援委託	4,510,000円	実証実験委託料	2,500,000円	地域に根付いたスマホ教室	4,000,000円	スマートフォン教室広報チラシ印刷費	55,000円		
学識等アドバイザー報償費	285,000円														
大阪広域データ連携基盤（ORDEN）負担金	3,148,000円														
岸和田市スマートシティ推進協議会運営支援委託	4,510,000円														
実証実験委託料	2,500,000円														
地域に根付いたスマホ教室	4,000,000円														
スマートフォン教室広報チラシ印刷費	55,000円														
R8年度以降の想定事業費（ランニング経費）	取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い													
<table> <tr> <td>学識等アドバイザー報償費</td> <td>285,000円</td> </tr> <tr> <td>大阪広域データ連携基盤（ORDEN）負担金</td> <td>1,989,000円</td> </tr> <tr> <td>岸和田市スマートシティ推進協議会運営支援委託</td> <td>4,510,000円</td> </tr> <tr> <td>実証実験委託料</td> <td>2,500,000円</td> </tr> </table>	学識等アドバイザー報償費	285,000円	大阪広域データ連携基盤（ORDEN）負担金	1,989,000円	岸和田市スマートシティ推進協議会運営支援委託	4,510,000円	実証実験委託料	2,500,000円	<ul style="list-style-type: none"> 協議会参加団体数 0[R5]→3[R6]→10[R8] 実装サービス数 0[R5]→0[R6]→2[R8] 	<p>※必ず縮小・廃止時期を記載すること</p> <ul style="list-style-type: none"> (R8) 前年度を踏まえ改善 (R9) 前年度を踏まえ改善 (R10) スマートシティ推進協議会の市の参画度合の検証 					
学識等アドバイザー報償費	285,000円														
大阪広域データ連携基盤（ORDEN）負担金	1,989,000円														
岸和田市スマートシティ推進協議会運営支援委託	4,510,000円														
実証実験委託料	2,500,000円														

ロジックモデル【事業立案時点】



財源	他団体の状況	その他（行政サービスとしての適正性について など）
<ul style="list-style-type: none"> 一般財源 ふるさと寄付金 	熊谷スマートシティ推進協議会 会員数20 三島市スマートシティ推進協議会 会員数68 Uスマート推進協議会（宇都宮市）会員数29	民間サービスを市民の生活の質向上につなげることから、行政がすべき取組については、委託等の手法が考えられる。一方、民間ですべき取組については、後方支援を行う。その判断は、推進協議会及び本市スマートシティ推進委員会で協議を実施

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- 産学官が協力して、スマートシティの取組を実装し、市民生活の質の向上につなげる。

■ R7年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- 岸和田市スマートシティ推進協議会の活性化と実証や実装を推進する。
- 大阪広域連携基盤へ参画し、サービス展開を図る。

■ R7年度において実施・実現できたこと

- 岸和田市スマートシティ推進協議会への参画事業者を新たに1者追加し、連携事業者を4者とした。
- 健康ワーキング活動をとおして、マイクロラーニング手法を用いた食育の実証実験を実施した。
- 観光ワーキング活動をとおして、デジタルスタンプラリーを活用した観光周遊課題、観光施設の有用性の実証実験を実施した。
- ソフトバンク（株）と連携し、スマートフォン教室を市内6か所で開催した（123名参加）。
- 大阪広域データ連携基盤へ参画し、デジタル通知を実施する業務の選定を行った。

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指標名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R7年度実績値
○	協議会参加団体数	団体	0（R5）	10（R8）	4
○	実装サービス数	サービス	0（R5）	2（R8）	0

■ R7年度において実施・実現できなかったこと

- 岸和田市スマートシティ推進協議会への参画事業者が4者に留まり、5者に至らなかった。
- 健康ワーキング活動の実証実験、観光ワーキング活動の実証実験が令和8年度の実装へはつながらなかった。
- 歳入確保に至らずスマートフォン教室開催にとどまり、スマートフォン操作説明支援を担う人材育成体制の構築が未達となった。



■ ロジックモデルの振り返り

- 更なる稼働プロジェクトの創出、参画事業者の増加、実装へつながる実証の実施を推進するため、一部修正が必要になる。



■ 課題分析

- 公募のうち1件について事業者が決定されなかった。
- 実証により実装への新たな課題が見える化された。



■ 次年度以降の予定・改善内容

- 岸和田市スマートシティスマートシティ推進協議会参画事業者とワーキング活動を行い、令和7年度実証実験による課題を踏まえた実証実験を実施する。
- 参画事業者が決定しなかった部会の公募要件を見直し、事業者提案を改めて実施する。
- デジタル通知実施業務を追加する。
- デジタル通知利用者の増加を推進する。
- 地域においてスマートフォン操作説明支援を担う人材育成のための講座を開催する。